

令和7年（2025年）度行政評価シート【個表】 令和 7 年 6 月 20 日

評価対象事業		評価者	高齢者いきいき課長 村松 康之	
健福-22	高齢者福祉運営事業	☒ 自治事務	主管課	高齢者いきいき課
		☐ 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	4-(1) 健康福祉	施策の方針	4-(1)-①多様性のある福祉サービスの充実

1 事業の目的

対象	高齢者等
意図	地域における高齢者の保健・ニーズを分析し、必要なサービス量を定め、豊かな高齢者福祉の基盤整備を図るため。
効果	地域全体で高齢者の自立生活を支え合い、介護が必要になっても住み慣れたまちで暮らし続けられる環境を実現する。

2 令和6年(2024年)度を実施した事業の概要

・鎌倉市高齢者保健福祉計画の進行管理及び次期計画の策定を行った。	
・福祉有償運送事業に関する事務を行った。	
・カーボン・マネジメント強化事業に係る施設の維持修繕を行った。	

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和6年度		令和7年度	達成度
				指標(実績値／目標値)		指標(目標値)	
				事業費(決算／当初)(千円)		予算額(千円)	
01	鎌倉市高齢者保健福祉計画推進事務	高齢者保健福祉計画の進行管理及び次期計画の策定	主要施策の評価指標の目標値を達成している数(件)	集計中 / 12		12	
				447 / 759		4,224	
02	福祉有償運送事業事務	4市1町共同運営協議会に係る事務	—	- / -		-	
				0 / 5		5	
03	カーボン・マネジメント強化事業	旧岩瀬子ども会館(シルバー人材センター)の照明のLED化	—	- / -		-	
				1633 / 1978		-	
04				/			
				/			
05				/			
				/			
06				/			
				/			
07				/			
				/			
08				/			
				/			
09				/			
				/			
10				/			
				/			
		財源内訳	国県支出金	/			
			地方債	/			
			その他特定財源	14 /			
			一般財源	2,066 /	2,742	4,229	
		事業費の合計 (千円)		2,080 /	2,742	4,229	
		人件費 (千円)			3,146	4,269	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	0.2	0.7	0.5	0.7	0.4	0.5
会計年度任用職員	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	鎌倉市高齢者保健福祉計画推進事務	現在集計中	高齢者福祉の基盤整備を図るため、適切な計画の策定及び推進が重要である。	議事の円滑な進行のため、推進委員会の運営方法や資料の作成等について、さらに工夫していく。
02	福祉有償運送事業事務	道路運送法により4市1町共同運営協議会を設置し、事務を行うことから、指標の設定はなじまない。	介護が必要な高齢者の外出支援として、移動手段を確保するうえで必要な事業である。	登録事業者が減少傾向にある。
03	カーボン・マネジメント強化事業	照明器具の交換修繕の実施であり、指標の設定はなじまない。	省エネルギー化により、経費削減につなげ、シルバー人材センターの活動を支援する	特になし。
04	0			
05	0			
06	0			
07	0			
08	0			
09	0			
10	0			

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか		1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか		2 外部化に向けて検討できる事業がある
	関連・類似する事業の統合はできないか		3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか		4 市民ニーズを計ることはなじまない
	民間によるサービスで代替できる事業はないか		4 法令等により、市に実施が義務付けられている
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか		1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入	△-3 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施	△-9 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、実施事業に協働はなじまない
			協働実施済の場合のパートナー

(3) 総合評価

※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	☐ 拡充	☐ 改善・変更	☒ 現状維持	☐ 縮小	☐ 休止・廃止
高齢者保健福祉計画は、3年を1期として策定することが法律により定められているため、今後も継続して事業を行う必要があり、そのために必要な予算を確保し適切に執行する。 福祉有償運送事業についても、法令に基づき適切に実施していく。					

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	主要施策の評価指標の目標値を達成している数						単位	件
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
高齢者保健福祉計画推進のために定めた主要施策の評価指標について、各年度における目標値の達成状況を把握することで、当該事務の推進状況が明確になるため。	目標値		13	14	13	12	12	
	実績値		8	6	7	集計中		
	達成率		61.5%	42.9%	53.8%			

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	65歳以上人口及び65歳以上高齢化率(令和6年1月1日現在)							
団体名	鎌倉市	横須賀市	平塚市	藤沢市	茅ヶ崎市	逗子市		
他市実績	52,603人	122,715人	73,982人	108,229人	66,267人	17,483人		
	30.71%	32.78%	28.62%	24.39%	26.97%	31.23%		

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	近隣市同様、本市も高齢化率の高い水準である。他市の先進事例なども参考にしながら、高齢者保健福祉計画に掲げる事業を推進していく。
--------------------------	---